



# 新田だより

## 2月

豊中市立新田小学校 第10号  
令和6年(2024年)2月1日

### 節分



一月は「行く」と言われるようにあっという間に過ぎてしまいました。迎えた二月は「逃げる」と言われています。計画をしっかりと立てて無駄に時間が過ぎないように教育活動に当たりたいと思います。「立春」が近づいているとはいえ、まだまだ寒さが厳しい今日この頃です。体調管理をしっかりとしながら短い二月を充実したものにしたいです。

さて、二月といえば「節分」、そして「豆まき」です！

節分は、各季節の始まりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前日のことをいい、「季節を分ける」を意味しているようです。日本では奈良時代に疫病が流行した際に、悪い鬼を追い払うために天皇が行った儀式が始まりとされています。現在のような「鬼は～外！福は～内！」のかけ声とともに豆をまくスタイルになったのは、室町時代以降からのようです。

我が家では、大人二人がナマハゲのかぶり物を付け、赤いジャージと青いジャージの上下を着て鬼に大変身します。今年も、「ユーチューブばかり見ている子どもはだれだぁ」「宿題していない子どもはいないかぁ」等々言いながら突然現れた鬼たちに、10才児を頭に、5歳児二人、三歳児の四人の孫たちが、泣きじゃくりながら「鬼は外！」を言いながら逃げ惑う姿が想定されます。

何はともあれ、今年一年を健康に過ごすことができますように・・・。

# 能登半島地震から一月経ちました

11 住み続けられる  
まちづくりを



防災学習でお招きした京都大学地震研究所の後藤浩之教授は、常に、「地震を止めることはできません。自分の命を守るため、地震にあったらどうすればよいのか、その術を身に付けてください。」とメッセージを発信されます。私たち一人一人が、この言葉を形にすることが防災への大きな一歩である

ことをしっかりと捉えなければなりません。

何時かは来るだろう南海トラフ巨大地震。でもいつ発生するのかは分かりません。だから、一人一人が、今この時に地震が起きたら・・・を想定しておかねばなりません。そのためにも今一度、ご家庭でお子さんを交えて話し合ってください。

**キーワード!**

“過去の教訓を生かし有事にいかに命を守ることができるのか”  
“子どもたち一人一人が自分事として命を守る行動をとらなければ  
ならない”

## 四年生が募金を呼びかけました!

石川県能登半島地震募金について（四年生からのお願い）

令和6年（石川県）能登半島地震で被害にあわれた方々に私たちが  
できることはないかを考えました。

そこで、募金活動を行い被災地に届けようと思います。

みなさんも、ご協力をよろしくお願いします。

日時：1月22日（月）～25日（木）

時間：8：00～8：20

場所：北下足・南下足



**募金額 合計 152,104 円**



Thank you

1月31日、郵便局から「石川県令和6年能登半島地震災害  
義援金」口座に振り込みました。

皆さま、ご協力をありがとうございました。

# 陸前高田市立高田小学校の防災を紹介！

防災学習の取組みの一環として、四年生が、陸前高田市立高田小学校と交流学習に取り組んでいます。その中で、高田小学校の四年生が次に記載する災害の教訓を伝えてくれました。

## はじめに

高田小学校は、岩手県でもっとも南にある陸前高田市という宮城県との境目にある海岸沿いの地域にあります。緑が多く景色が良いところが多いです。お店などは多くありませんが、山も海もあって自然豊かなところですよ。砂浜には12年前までは、多くの松の木があり、海水浴で多くの人を訪れていました。

陸前高田市は、東日本大震災で大きな津波の被害を受けてしまいました。私たちが学習した災害の教訓を新田小の皆さんに伝えたいと思います。

## 災害の教訓（1）

僕たちの学校は、海拔50mの高台にあります。そのため、学校の体育館は、避難場所になっています。「大きな地震のあとには、津波が来る」「津波てんでんこ」、これは岩手の方言が使われた言葉で、津波が来るときには、ばらばらになってもとにかく逃げる、という意味があります。高田小学校の敷地には備蓄倉庫があります。僕たちは中に入って、置いているものを確かめました。飲料や水の他に、発電機なども置いてありました。災害時に備えておくものを確かめることができました。

## 災害の教訓（2）

被災した5階建ての建物の4階までと5階とでは色の違いがあります。東日本大震災の津波は、この建物の4階部分、つまり14.5mもの高さがあったのです。津波は、わずか30cmでも、人を押し流す威力があると言われていて、津波を甘くみてはいけません、津波は繰り返し襲ってきます。何百年に一度は大きい地震、そして津波がこの岩手県の沿岸を襲うと言われていて、

そんな大津波による被害を少しでもなくすため、陸前高田市では様々な活動が行われています。一つ目は、「桜の木を目印にして大切な命を守る」桜ライン311の活動です。僕たちは、その活動について学び、伝えてくれた思いを新聞記事にもまとめました。将来、陸前高田には何万本もの桜の木が植えられる計画です。この活動には様々な地域からボランティアの方がかわってくださっています。





## 2月16日(金) 1限～3限

本校のESD学習は、「自分事」「つながり」「もったいない」等を学びのキーワードとして取り組んでいます。ESDフェスタは、1年間のESD学習で得た知識や収穫物等を発信する場として位置付け、子どもたちが互いの学習に触れながら「学ぶよろこび・調べる楽しさ」を味わうことを目的として開催します。

お子さんの所属する学年、学級の取組みにご参加いただき、一年間の子どもたちのESD学習のまとめをご覧ください。

\*詳細は、ESDフェスタ及び学級懇談会等のご案内をご覧ください。

## 運動委員会イベント大縄会



今年も大縄大会に挑戦しました！各クラスが3分間に跳んだ回数を競い合いました。1月29日は3・5年生が、30日は2・4年生が、そして、31日は1・6年生がチャレンジしました。

**【暫定】 総合1位、5年1組 290回**  
**2位、3年1組 261回 3位、3年2組 250回**

正式な結果は、3-3学級休業明けのチャレンジにより決まります。

